

CallTracker Google廣告 連携



▶ Google広告連携とは

コールトラッカーとGoogle広告を連携することで、電話によるコンバージョン(CV)をGoogle広告に取り込み、自動入札のデータとして活用することにより、より精度の高い広告運用が実現可能となります。

従来の広告運用は、電話CVはWeb上での行動と紐づけが困難のため
広告費用対効果の測定としては不十分…。

通話ログを自動で取り込み、キャンペーンやキーワードなどの
情報を紐づけることが可能です。

外部CVデータのインポート・アップロード作業も不要。
運用工数の削減も期待できます。

ご利用までのロードマップ

ご利用条件の確認

1

Google広告の設定

3

Webサイト側の
電話番号表示設定

5

2

実装方法の選択

4

Call Trackerの設定

6

動作確認

※ ご利用にあたって別途詳細な手順を示した手順書を公開いたします。

ご利用条件の確認

Call TrackerにてGoogle広告と連携するためには以下の機能を利用することが必要です。

動的発番機能(0078番号)

サイトの訪問者のアクション (Webページへのアクセスやクリックなど)毎に番号をリアルタイムに生成する仕組みで、これによりユーザーやセッションに対しユニークに番号を払い出す事が可能になります。他社製品のように一度に大量の話番号を予め保有しておく必要もなく、大量のトラフィックが発生しても高精度でトラッキングができます。

API連携機能

電話番号の発行や得られた通話ログを外部システムに通知するなど、APIを用いて操作とログの送出手が可能になります。

実装方法の選択

Google広告連携は下記のいずれかの方法で実装を行います。

- GTM (Google Tag Manager) を利用した実装
- GTM を利用し、GA4 (Google Analytics 4) と相互に連携した実装
- Webサイトに直接設定を行う実装

上記のそれぞれの実装方法に合わせてマニュアルをご準備しています。

状況に合わせていずれかの実装方法を選択してください。

GA4連携に関してはGoogle広告連携をは別にマニュアルをご準備しています。

Google広告の設定

1

広告配信の設定

2

Googleクリック(gclid)を利用する設定を行う

3

トラッキングテンプレートの設定

4

コンバージョンアクションの設定

5

オフラインコンバージョンの
取り込み設定

Call Trackerの設定

CalltrackerにはGoogle広告連携を行うための特別な設定は不要です。Calltrackerのアカウントが既に発行済みで、広告主登録まで終わっていただければご利用いただくことができます。
(電話番号の発番はこの段階では不要です。)

Calltrackerのご利用がはじめてである場合や、設定の詳細について知りたい場合は、オンラインマニュアル上の記事や、マニュアルサイトのその他の記事を参照ください。

オンラインマニュアルは、Calltrackerの管理画面から参照することができます。

Webサイト側の電話番号表示設定

GTMを利用する場合

1

GTMの設置

2

gclidを取得するためのタグ設定

3

URLパラメータを受け取る
データレイヤー変数を設定

4

動的発番タグ発火用の
カスタムトリガーを定義

5

CVページに動的発番タグを設置

ページに直接設定する場合

1

gclidを取得するためのタグ設定

2

CVページに動的発番タグを設置

実際の手順詳細については、
マニュアルをご確認ください。

動作確認

1 架電と通話ログの確認

電話番号表示を行うページに Calltrackerの番号が表示されることを確認し、実際に電話をかけてみてください。設定に誤りが無ければ通話が成立し、電話を切った数分後に通話ログを確認することができます。

2 コンバージョン連携の確認

Calltrackerの通話ログは、毎日 AM2:00に前日分・前々日分をコンバージョンとして取り込みます。電話をかけた翌日にオフライン CVとしてインポートされているかを確認してください。

※ 前々日分の取得は、前日分の取りこぼしを見据えた対策となります。重複して取り込まれることはありませんが、アップロードエラー扱いになりますのでご了承ください。